

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年3月1日)

- 1 バードスタジアム国際交流基金（平成24年度分）の取崩しについて
【交流推進課】 . . . 1ページ
- 2 山陰海岸ジオパーク写真コンクールの審査結果について
【観光政策課】 . . . 2ページ

文化観光局

バードスタジアム国際交流基金(平成24年度分)の取崩しについて

平成24年3月1日
鳥取力創造課
交流推進課

1 経緯

一部老朽化し、また、機能強化が求められているバードスタジアムの改修に、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会に設置しているバードスタジアム国際交流基金を活用し、現在、芝生張替工事を行っています。

平成24年度の改修工事においても同様にバードスタジアム国際交流基金を活用したい旨の考えがバードスタジアム国際交流基金管理運営委員会で、鳥取市及び(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会から示されました。

2 基金取崩しの考え方(鳥取市、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会)

とりぎんバードスタジアムは、県高校総体や少年サッカー大会、県サッカー選手権決勝大会の会場として使用されるなど、県のサッカー振興の拠点施設であり、また、ガイナレ鳥取のホームスタジアムとしてJ2の試合を行っている。しかしながら、平成7年の建設から16年を経過し、老朽化が進んでいること等から、県内のサッカー振興及びガイナレ鳥取の更なる飛躍のため、平成23年度のピッチ芝の張り替えに続き、夜間照明施設器具等取替、オーロラビジョン設置を行うための財源として、バードスタジアム国際交流基金を充当したい。

3 県の方針

平成23年度のバードスタジアム改修(芝生張り替え)にあたっては、事業内容を勘案し基金の取崩しに同意しており、平成24年度の工事についても同様の考え方で、事業費に対応する基金の取崩しに同意する方向で検討する。(なお、ピッチ芝張替工事については、当初87,000千円を基金から充当する予定であったが、実施に伴う設計変更により、47,517千円に減額して充当する。)

【バードスタジアム改修工事計画(基金を活用するもの)】 (単位:千円)

年度	工事計画(内容)	事業費	基金充当額	備考
平成23年度	ピッチ芝張替工事(実施中)	114,954	47,517	当初計画:87,000 ※一部設計変更
平成24年度	夜間照明施設器具等取替	161,950	249,483	鳥取市予算提案中
	オーロラビジョン設置	432,600		
計			297,000	基金全額を取崩し

※上記の財源として、スポーツ振興くじ助成金(toto)、バードスタジアム国際交流基金および一般財源(鳥取市)を充当する予定。

※今後鳥取市では、独自に観客席屋根設置を検討していく予定。

《参考》バードスタジアム国際交流基金の概要

(1) 造成年月日 平成7年11月14日

(2) 造成額 400,000,000円 (現在の基金残高 297,000,000円)

(内訳) 鳥取県 200,000,000円

鳥取市 200,000,000円

※ワールドカップ2002の「エクアドル」チームの鳥取キャンプ受け入れのため、H14年度に63,000,000円の基金取崩しを行っている。

※ガイナレ鳥取のJ2昇格に必要な財務基盤強化に向け、県と市が当該基金を財源として出資するため、平成22年度にそれぞれ20,000,000円の基金取崩しを行っている(平成22年11月補正)。

(3) 基金管理主体 財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会

(4) 管理運営委員会 交流推進課長が委員に就任

山陰海岸ジオパーク写真コンクールの審査結果について

平成24年3月1日
観光政策課

鳥取県内の山陰海岸ジオパークエリア内の魅力を表現豊かにあらわした作品をテーマに、写真コンクールを実施しました。下記のとおり入賞作品が決定し、授賞式及び展示会を開催します。

1 コンクールの概要

- (1) 目的 山陰海岸ジオパークエリアの魅力をテーマに表現した写真コンクールを開催し、地域の魅力ある資源を県内外に再認識していただくとともに、入賞作品を鳥取県のPRに活用する。
- (2) 募集期間 平成23年6月1日(水)～平成24年1月10日(火)
- (3) 入賞 特選：1点 (賞状、副賞5万円)
入選：10点程度 (賞状、副賞3万円)
佳作：10点程度 (賞状、副賞1万円)
- (4) 審査員 鳥取県写真家連盟会長 渡里 彰造 (わたり しょうぞう) 氏
ほか7名

2 応募の状況

- (1) 応募作品数 428点
- (2) 応募者数 110名 (県内52名、県外58名)

3 受賞作品 (敬称略)

	題名	氏名	題名	氏名
特選 (1点)	飛んでけー、日本海	林 隆義 (はやし たかよし)		
入選 (10点)	風と砂の造形	野田 みつ子 (のだ みつこ)	風紋を踏みしめて	竹田 義男 (たけた よしお)
	海の細道	坂本 洋一 (さかもと よういち)	砂丘に登る	池田 一政 (いけだ かずまさ)
	陰模様	松本 一志 (まつもと ひとし)	光映の細波	山尾 賢一 (やまお けんいち)
	満月に映える	大高 真雄 (おおたか まさお)	飛翔	上田 幸弘 (うえだ ゆきひろ)
	静寂の湖山池	太田 忍 (おおた しのぶ)	夕刻の砂丘	山本 清恵 (やまもと きよえ)
佳作	11点 (11名)			

4 授賞式及び展示

- (1) 日時 平成24年3月8日(木) 午後2時から3時
- (2) 場所 鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり2階多目的ホール
- (3) 展示

期 日	場 所
3月8日(木)～3月15日(木)	サンドパルとっとり (鳥取市福部町湯山)
3月27日(火)～3月31日(土)	とりぎん文化会館 (鳥取市尚徳町)

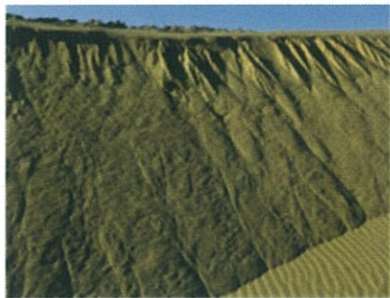
特選



題名: 飛んでけー、日本海
氏名: 林 隆義

【講評】砂じんを巻き上げて飛び出したサンドボーダーを、絶好の位置と姿勢で撮っています。静かな景観作品の多い中で、躍動感あふれる魅力的な映像となって目を引きました。また、右半分を大きく空間としたフレーミングは、スケールの大きい景観の雰囲気を出していると思います。静と動が見事に表現された秀作となりました。

入選



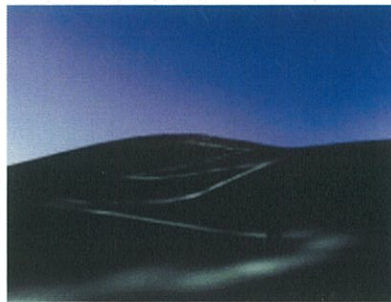
題名: 風と砂の造形
氏名: 野田 みつ子



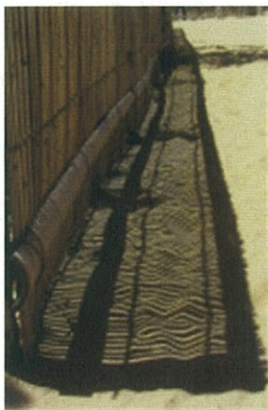
題名: 風紋を踏みしめて
氏名: 竹田 義男



題名: 海の細道
氏名: 坂本 洋一



題名: 砂丘に登る
氏名: 池田 一政



題名: 陰模様
氏名: 松本 一志



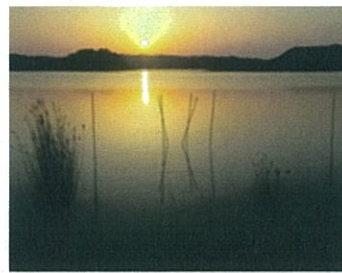
題名: 光映の細波
氏名: 山尾 賢一



題名: 満月に映える
氏名: 大高 真雄



題名: 飛翔
氏名: 上田 幸弘



題名: 静寂の湖山池
氏名: 太田 忍



題名: 夕刻の砂丘
氏名: 山本 清恵